

《課題名》

日本の慢性痛保有者の破局化および自己効力感と痛みアウトカムとの関連の検討

《研究対象者》

2013年9月から2017年3月までに滋賀医科大学附属病院ペインクリニック科において「慢性痛」と診断され、質問票に回答された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意は頂かずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：

日本の慢性痛保有者の破局化および自己効力感と痛みアウトカムとの関連の検討

研究期間： 倫理審査委員会承認日～2028年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 麻酔学講座 中西 美保

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

この研究は、日本で診療を受けておられる慢性痛をお持ちの方を対象に、痛みについて非常にネガティブに考える傾向をさす破局化および痛みがあってもさまざまな活動ができるという自信を表す自己効力感といった痛みに対する考え方が痛みの強さや生活の不便さ、気持ちの落ち込みや不快感、不眠にどの程度の関連を有するか明らかにすることを目的としています。

海外では、破局化や自己効力感のような痛みに対する考え方を治療の対象にするような方法の有効性が報告されていますが、日本ではそのような報告はまだ少数です。この研究を行うことで、痛みに対する考え方がどの程度痛みや痛みに伴う症状に関連するのか明らかにし、日本においても痛みに対する考え方を治療の対象にすることの重要性を検討できればと考えています。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

この研究は滋賀医科大学ペインクリニック科が単施設で行う研究です。滋賀医科大学ペインクリニック科の過去の電子カルテに記載されている診療情報（当科受診時に得た問診票、質問票の結果）を抽出し、データの匿名化を行います。個人が特定されないように匿名化したデータに統計解析を加えます。

この研究で用いる情報の項目は下記のものになります。

1. 研究に参加される方の背景情報

年齢、性別、身長、体重、疾患名、痛みの持続期間、痛みのある部位、婚姻状態、就労状態、年収、収入源、最終学歴、麻薬系鎮痛薬の使用の有無、裁判の有無、使用している健康保険の種類、運動頻度、過去および現在の痛みに対する治療

2. 痛みに対する破局的思考尺度 (PCS, 痛みに対してネガティブに考える程度を測ります)
3. 痛み自己効力感質問紙 (PSEQ, 痛みがあっても色々な活動に取り組めるという自信を測ります)
4. 痛みの強度 (NRS, 過去 24 時間の最大, 最小, 平均の痛み強度と回答時の痛み強度を測ります)
5. 疼痛生活障害評価尺度 (PDAS, 痛みに伴う生活の不便さを測ります)
6. 不安・抑うつ尺度 (HADS, 不安さと気持ちの落ち込みを測ります)
7. アテネ不眠尺度 (AIS, 不眠の度合いを測ります)

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表および学術雑誌などで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(2018年12月31日までに)下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 麻酔学講座 中西 美保

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2281

メールアドレス：mnakani@belle.shiga-med.ac.jp